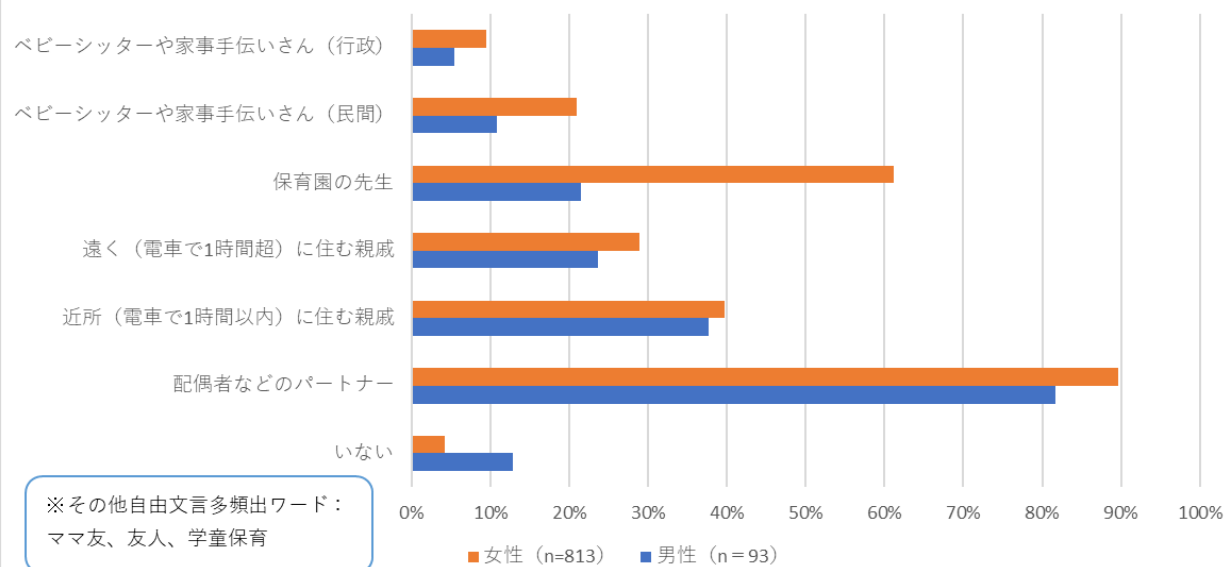


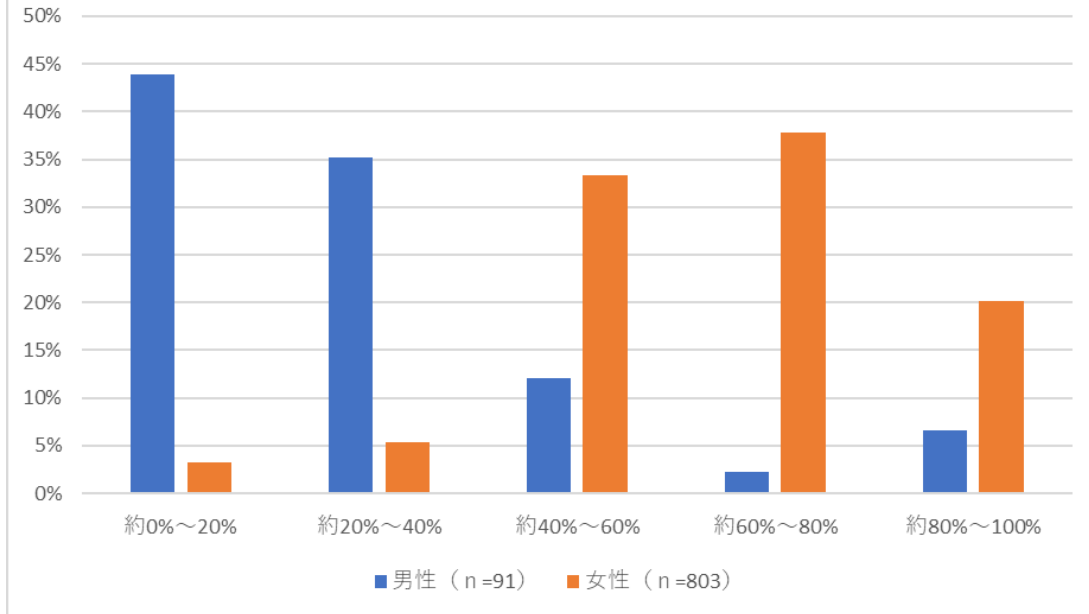
問6 あなたが仕事と家庭を両立しようとするときに、協力してくれる人についてお伺いします。あてはまるものすべてをお選びください。



「問6 あなたが仕事と家庭を両立しようとするときに、協力してくれる人についてお伺いします。あてはまるものすべてをお選びください。」という問いに対して、最も多く回答されたものが、配偶者などのパートナーであり、女性においては約 90%、男性においては約 80%にのぼる。また、女性回答者の約 60%以上保育園の先生という回答を選択したのに対し、男性は約 20%が回答している。

協力者はいないという回答については、男性の 10%以上が選択しているが、女性回答者は 5%未満である。

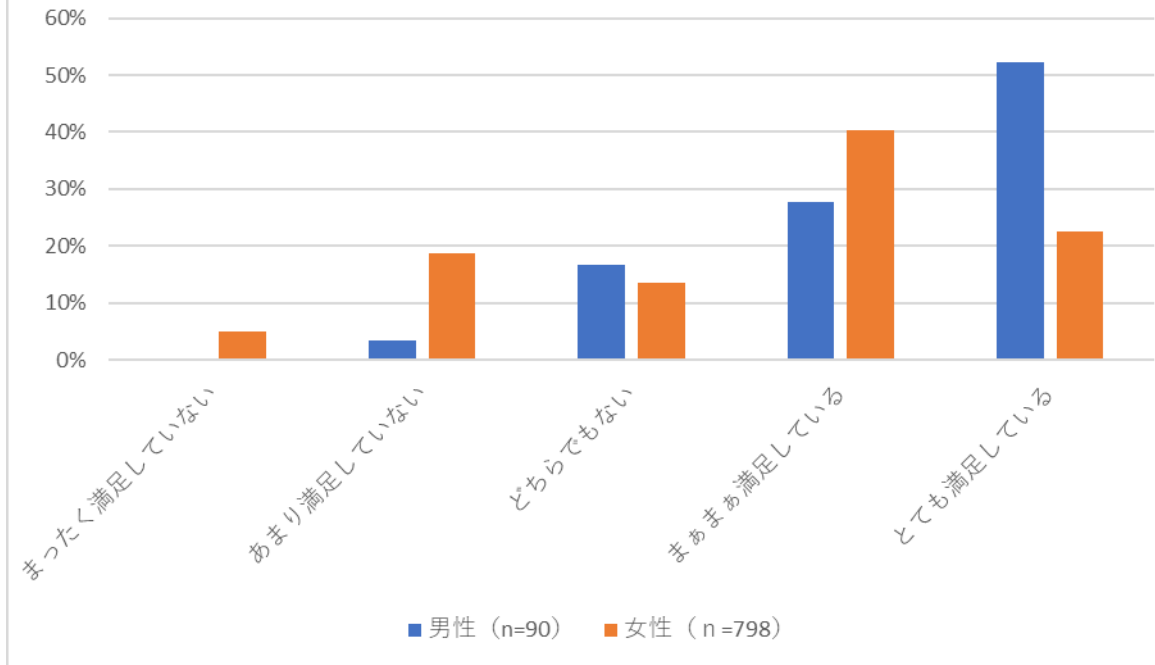
問12 家事や子育てに対する、パートナーとあなたの  
分担割合についてお伺いします。あなたの分担割合で  
あてはまるもの一つをお選びください。



「問 12 家事や子育てに対する、パートナーとあなたの分担割合についてお伺いします。あなたの分担割合であてはまるもの一つをお選びください。」という問いに対して、男性回答者において最も多い回答が 0-20%の分担割合であり、およそ 45%を占める。次いで男性回答者の約 35%が家事分担割合を 20-40%、約 13%が家事分担割合を 40-60%と回答している。

一方で、女性回答者で最も多く回答されたのが、家事分担割合が 60-80%というものであり、女性回答者の約 38%を占める。次いで、約 34%の女性回答者が家事分担割合を 40-60%と回答している。また、約 20%の回答者が 80-100%の家事分担割合を引き受けていると回答している。

問13 配偶者やパートナーの家事・子育てへの協力に対する、あなたの満足度についてお伺いします。あてはまるもの一つをお選びください。



「問 13 配偶者やパートナーの家事・子育てへの協力に対する、あなたの満足度についてお伺いします。あてはまるもの一つをお選びください」という問いについて、男性回答者の50%以上がとても満足しているという回答を選択し、最も多いのに対して、女性回答者で最も多い回答が、まあまあ満足している、というもので、約40%を占める。

## 問 12 及び問 13

問 1 2 及び問 1 3 について、家事の分担割合が多いほど、配偶者への満足度がやや下がるといふ、仮説を単回帰分析により検証した結果が以下である。

配偶者への満足度 =  $4.7 - 0.33 \times$  自分で負担する家事分担割合の大きさ

$R^2 = 0.09$

決定係数が低く 0.1 以下を示し、また、上記では十分な統計的有意水準を満たさず、帰無仮説が棄却されなかったため、配偶者満足度と家事分担割合との単相関があるとはいえない結果となった。

### 概要

回帰統計	
重相関 R	0.30979
重決定 R <sup>2</sup>	0.09597
補正 R <sup>2</sup>	0.09497
標準誤差	1.198681
観測数	906

### 分散分析表

	自由度	変動	分散	予測された分散	有意 F
回帰	1	137.8878	137.8878	95.96635403	1.33E-21
残差	904	1298.899	1.436835		
合計	905	1436.787			

	係数	標準誤差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	4.707005	0.123285	38.17982	1.0444E-190	4.465047	4.948963	4.465047	4.948963
5点評価	-0.33223	0.033914	-9.79624	1.3274E-21	-0.39878	-0.26567	-0.39878	-0.26567